

# 糺の森



糺の森ぐらりぐらり 第2回  
糺の森に眠る祭祀跡  
糺の森NEWS／催事案内

写真／水野克比古

## 催事案内

お問い合わせは糺の森財団事務局まで ☎075-781-0010

### 「世界遺産 京都下鴨神社展」

月日：10月20日(水)～26日(火)  
時間：午前10時～午後6時  
場所：名鉄百貨店本館10階  
美術サロン(名古屋駅前)  
参加：無料(自由)  
※下鴨神社に保存されている門外不出の御神宝を特別に展示いたします。この機会をお見逃しなく是非ご覧ください。

### 糺の森文化講演会 平成22年度秋講座

月日：12月5日(日)  
時間：午後1時半～3時  
場所：下鴨神社研修道場  
参加：無料  
※“世界遺産糺の森を語る”をテーマにした文化講演会です。写真家の水野克比古氏に糺の森の紅葉から四季折々について写真とともにお話しいたします。秋の1日京都の文化歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



### 秋の糺の森コンサート 「音の森」

月日：第4回 10月 9日(土)  
第5回 11月 6日(土)  
第6回 12月11日(土) 予定  
時間：午後2時～3時(予定)  
場所：河合神社(糺の森南側)拝殿  
※10月のみ下鴨神社橋殿  
参加：無料(自由)  
※平成22年4月から始まったコンサート。この秋も京都市立芸術大学の音楽学部のご協力で開催致します。美しい調べとともに秋の糺の森をお楽しみください。

詳細はホームページをご覧ください。

糺の森財団 [www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z](http://www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z)  
下鴨神社 [www.shimogamo-jinja.or.jp](http://www.shimogamo-jinja.or.jp)

- 平成22年下半期行事
  - 10月9日 えと祈願祭(午後1時～)
  - 10月24日 第13回フリーマーケット糺市(午前9時～)
  - 12月12日 お薬酒神事(午後1時半～)
- 平成23年上半期行事
  - 1月1日 歳旦祭(午前6時～)
  - 1月4日 蹴鞠初め(午後1時半～)
  - 1月8日 成人祭(午後1時半～)
  - 1月12日 初えと祭(午前11時～)
  - 2月3日 節分祭(午前10時～)
  - 3月3日 雛流し(午前10時半～)

## 下鴨神社だより

## 事務局だより

### 会議報告

平成22年4月1日より9月30日まで

#### 第2回理事会

月日：平成22年6月1日  
場所：主たる事務所  
出席：理事・監事  
決議事項：  
①自平成21年12月9日至平成22年3月31日事業報告の件  
②自平成21年12月9日至平成22年3月31日決算の件  
③助成事業規程の一部変更の件  
④貸借対照表に係る情報の提供を電磁的開示により行うために必要な事項を設定する件  
⑤顧問就任の件

#### 第2回評議員会

月日：平成22年6月1日  
場所：主たる事務所  
出席：評議員  
報告事項：  
①自平成21年12月9日至平成22年3月31日事業報告について  
決議事項：  
①自平成21年12月9日至平成22年3月31日決算について  
②定款の一部変更の件

### 会員数報告

(平成22年9月30日現在)

賛助会員 49名  
団体・法人会員 30名  
個人会員 1911名  
計 1990名

編集・発行

公益財団法人  
世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会事務局  
〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010  
[www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z](http://www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z)



題字  
賀茂御祖神社  
新木直人宮司

### 糺の森財団

理事 柏原 康夫  
(株)京都銀行 会長



一昨年に発足いたしました「日本の森を守る地方銀行有志の会」は、昨年12月世界文化遺産「糺の森」におきまして記念植樹を行いました。これは環境保全の意識が高まるなか、全国の地方銀行の森づくり活動をネットワーク化して日本の森を守る活動を支援し、他団体との連携を図ることにより、広がりのある森を守る活動の実現を目指すものです。



近年関心の高まりが著しい温暖化防止、水質保全、生物多様性保全、災害予防など「緑」が有する多面的機能は、人間環境において重要な要素を持つものであり、特に都市部においては環境問題への取組みが求められています。

この「糺の森」は、京都市の中心部に位置し、平安京遷都以前の原生樹林を今に留める学術的・歴史的に貴重な森林であるとともに、都市林として人々の生活環境に大きな役割を果たしています。

糺の森財団では発足以来、この「糺の森」の樹木保護への助成や、毎年4月に市民植樹祭を行い後継樹を育成するなど森の環境保護整備につとめてまいりました。

糺の森は世界遺産の森です。世界遺産の森という人類共通の財産をとおして、次世代に引き継ぐべき環境意識の啓発に努め、森の保護活動や緑化活動により一層推進してまいりたいと思います。

何卒、皆さま方の更なるご理解ご支援をお願い申し上げます。

# 糺の森に眠る祭祀跡

糺の森財団 学術顧問  
(京都産業大学 文化学部 教授)

鈴木 久男

史跡糺の森には、元気な若木のほかに数百年の歳月を経ているのではないかと思われるような老木もあり、訪れた者にこの地の長い歴史と変遷を感じさせる。また境内を流れる清流や椴皮茸の建物を見るとき、ここが神の居ます神聖な空間であることを改めて認識させる。

このような糺の森の地下には、いつしか地上から消えてしまった文化財が包蔵されている。地下に埋もれている文化財（埋蔵文化財）は、文献史料とは違った歴史情報を私たちにもたらしてくれる。

糺の森  
ぶらりぶらり  
第二回

**平成22年度 防災施設事業**  
**国宝・重文防災設備工事**

平成20年度から実施されている国宝重要文化財の防災設備工事は、順調に工事が進んでいる。完成は来春、消防ポンプ、自動火災報知機、自動放水銃や防犯センサー、防犯カメラ等最新の機器に取り替えられることとなる。

火災発生時には、ボタン一つで自動首振り式放水銃が作動するなど非常時の対応が迅速化される。

総事業費は1億880万円。設計は大森設計事務所（京都市右京区）、自動火災報知設備及び防犯設備工事の施工は（株）大同（京都市右京区）、消火設備工事は（株）織部設備工業（京都市山科区）。

**平成22年度 建造物修理事業**  
**重要文化財 二井神社拝殿、棟門修理工事**

本殿西方に位置する三井神社は、『山城国風土記』にも収載される京都で最も古い社の一つで、本年度はその拝殿と棟門が修理される。現在は屋根など

の傷みが激しく、構造に歪みもみられる。松皮屋根の葺き替えと木部修理によって、来春優美な姿がよみがえる。

現在のものは、寛永六（一六二九）年に造替され、拝殿は桁行二間、梁間一間、一重、入母屋造、妻入、松皮葺。棟門は一間葉医門、切妻造、松皮葺。両建物ともに傷みの進む状態で、前回の修理は昭和48年にさかのぼる。

なかでも、拝殿は全体に東北方へねじれて傾いており、構造の大幅な補強修正工事が行われる。



**成木献木者**（五十首順）  
 （株）アクトプランニング様、大石麻瑛央様、大隈節子様、小田島信雄様、カースルチャーターバス（株）様、小嶋神社様、佐藤信子様、高田容子様、田中美枝子・陶山ヤス子様、手島千恵子様、中嶋直子様、西平 直様、疋田 聡様、樋口姫美子様、堀田三郎様、宮野長次様、（株）矢野様、山内明子様

# 糺の森 NEWS

発行所  
 公益財団法人  
 世界遺産賀茂御祖神社境内  
 糺の森保存会事務局  
[www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z](http://www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z)



糺の森における埋蔵文化財の調査は、境内の整備事業計画の基礎資料作成を目的に平成2年から着手された。その結果、糺の森には縄文時代・弥生時代・古墳時代の遺構や遺物が発見され、その歴史の古さに驚かされた。また、従来全く知られていなかった、平安時代の流路や祭祀に伴う遺構や遺物なども確認された。

なかでも注目されるのは、境内を流れる流路とその水辺で行われた祭祀である。現在境内には、泉川・御手洗川・奈良の小川・瀬見の小川が存在している。

その水源は、泉川は高野川、旧瀬見の小川は賀茂川、御手洗川は御手洗池の湧水、奈良の小川は、御手洗川と泉川合流水である。なお、復元された平安期流路（旧奈良の小川）の水源は泉川の支流であったことが確かめられている。

こうした小川がいつ頃成立したかについては明らかではないが、共通していることは自然の流路のようであるが、すべて計画的に設計された人工の流路ということである。御手洗川では現在でも禊や神事が執り行われている。

平成15年に整備された平安期流路の南岸と泉川の右岸では、平安時代に祭祀を行っていた斎場が確認された。平安京内からは、水辺の祭祀に伴う遺物が数か所で発見され



ているが、祭祀場所は明らかでない。その斎場は、建物の基礎地業とほぼ同一の工法によって実施されており、ここで執り行われた祭祀へのなみなみならぬ思いが伝わってくる。神社では、その重要性をかんがみ、この貴重な遺構を平安期流路とともに復元整備された。また昨年は、奈良殿神地（船島）で調査された、雨乞いのための井戸も復元整備されている。糺の森の下には、こうした未知の遺構がまだまだ眠っている。

## 第20回 糺の森 市民植樹祭

「昭和の日」の4月29日（木）に、「糺の森市民植樹祭」が糺の森にて開催されました。

本年は献木いただいた成木20本（モミジ11本・ケヤキ5本・カツラ4本）と糺の森後継樹のムク・エノキ・カツラ・ケヤキ・モミジの苗木500本の植樹を行いました。

当日は午前9時からの御本殿での奉告祭の後、10時から糺の森馬場特設会場にて式典が執り行われました。財団理事長挨拶、下鴨神社宮司挨拶、京都府知事祝辞につづき、当財団学術顧問の森本幸裕京都大学教授による植樹レクチャーがあり、その後、成木を献木奉納者の方々により会場に植樹をしていただきました。また、500本の苗木は一般参加者の方々に表参道沿いと紅葉橋沿いに植えていただきました。

本年も、藤田造園様より苗木500本をご寄贈いただき、また林屋電気商會様・藤田造園様には設営等にご支援ご協力をいただきました。お礼申し上げます。

## 第20回 蛍火の茶会と 糺の森納涼市

6月12日(土)に恒例の「蛍火の茶会」が開催され、約4,000名の観光客で、大変な賑わいとなりました。

橋殿と細殿のお茶席には蛍とササの入ったかごと季節の草花が飾られ、今年も財団法人や招待客の約930名の方が参席されました。また、境内では箏曲の演奏や舞楽も披露され、多くの方が楽しめました。

午後8時には、御手洗池に約400匹の蛍が放たれ、光の舞に人々はすっかり魅了されていました。

同時に楼門前表参道にて開催された「糺の森納涼市」は、京の有名老舗など20店の出店があり、多くの御客様が買い物を楽しんでいました。

今年も多くの皆様にご奉仕ご協力をいただき、無事開催することができました。感謝申し上げます。

●●●●●

- 〈お茶席・点心席奉納〉 裏千家前家元 千玄室様
- 〈お茶席奉仕〉 淡交会京都東支部様
- 〈点心席奉仕〉 本家尾張屋様
- 〈箏曲奉仕〉 錦綾子社中様

- 〈十二単衣の着付と王朝舞〉 下鴨古楽会様
- 〈ご協力〉 (敬称略・五十音順) 岸野電気、松風園、(株)鈴木建設、西村管工、(有)林屋電気商会、(株)藤田造園、(株)ワコールホールディングス

## 「音の森」コンサート開催

春の糺の森に楽しい音が響きました

多くの市民の皆様が糺の森に親しんでもらおうと、今年から始めたコンサート「音の森」。第1回は4月29日、第2回は5月29日に開催しました。第3回は7月3日に予定していましたが、残念ながら雨の為中止になりました。会場は森の南にある河合神社境内で、演奏は京都市立芸術大学の大学院生によるものです。

第1回は爽やかな新緑の中で、トランペットやホルンなどの金管五重奏。「となりのトトロメドレー」やミュージカルの「踊り明かそう」など6曲が約1時間演奏されました。第2回もいよいよお天気に恵まれ、フルートやクラリネットの優しい音色の木管五重奏。



イベールの「三つの小品」や唱歌メドレーなど7曲が演奏されました。両日とも、コンサートを目的に来られた方だけでなく、参拝に来てたまたま、幸運にも参加された方など約150名が音楽を楽しんでいただけました。終了後、「緑と音楽がとても気持ちよかった」「次回も友達を誘って必ず来ます」など嬉しい感想をいただきました。

秋は10月から再開いたします。最終ページの〈催事案内〉をご覧ください。会員皆様のご来場をお待ちしております。

## 甦った 下鴨神社社家町

祝 辻 晶子(きんこ)さん  
京都府立大学 日本建築学会 「優秀卒業論文賞」受賞

下鴨神社秀穂会 前会長 小松明

糺の森財団主催の春講座で「近世末期下鴨神社における社家町を含む周辺地域の構成」をテーマに、下鴨神社研修道場にて今年三月に発表された、辻さんの卒論が権威ある日本建築学会2010年(第21回)の優秀卒業論文賞に輝きました。現在すでに失われてしまっており、その存在すら忘れ去られようとしていた下鴨神社社家町を、下鴨神社所蔵の江戸時代に描かれた「旧大繪圖」を丹念に一つひとつ読み取り、昭和の戦前まで存在した社家町の構成を見事に甦らせた力作です。

指導教官である大場修教授は、「辻さんの研究は、下鴨神社社家町の空間構成を、復元的に明らかにしたもので、さらにそれがどのように現在の地割や水系などに継承されているのか、につい

## 糺の森文化講演会 平成22年度夏講座 「読書の楽しみ、私と本」開催

昨年引き続き、今年も8月14日・15日の2日間、下鴨神社参集殿において下鴨神社秀穂会と共同で開催致しました。今年の講師は、14日は『彷徨える帝』や『天馬、翔ける』などの著作で、歴史文学の第一人者として活躍の安部龍太郎氏、15日は『ぼんぼん』『兄貴』

いただきました。12月には秋講座を開催予定です。ご期待ください。講演は以下のような内容でした。



安部龍太郎氏「転機に出会った本」

公務員として社会人のスタートをされた講師が小説を書かれるきっかけとなった本、歴史時代小説を書かれるきっかけとなった本、小説家として進んでいける決心をされた時の本など、人生の様々な場面で出会われた本について、その時々様々なた人との出会いや、エピソードを交えな



今江祥智氏「親子で楽しむ本」

がら穏やかな語り口でご講演いただきました。講師の友人の俳優の参加もあり、大いに盛り上がった。

学生時代仏文学に傾倒しロマンラン研究会を設立され、この研究会のお陰でこのちに福音館書店の

会長となる松居直氏と出会えたことや、卒業後中学教師となり図書館係りに任ぜられている時に、児童文学の名作群と出会ったことがきっかけで児童文学の魅力に開眼されたこと。松居氏の勧めで童話を書き始め続々と作品を発表され、その後数々の出版社での編集者としての活動や、ご自身の作品の挿絵を担当された画家達との交流など、親しみやすい口調でご講演いただいた。



## 「ナラ枯れ」から 糺の森を守れ!

— ナラ枯れ被害緊急対策 —

各地で被害が拡大している「ナラ枯れ」がとうとう糺の森にも飛び火した。

「ナラ枯れ」は、カシノナガキクイムシがブナ科樹木(ナラ、カシ、シイ等ドングリの生る木)に穴を開けて侵入し、内部で餌となる菌類を培養することで、樹木が水分を吸い上げるのを阻害し発生する。

京都市では平成17年に東山にて被害が確認されてから年々拡大の傾向を強めていて、糺の森でも今年春に初めて確認され、既に樹木への被害は100本近くに及んでいる。

このため、下鴨神社では去る8月16日に当財団学術顧問をはじめ専門家を交え対策会議が実施され、今後糺の森のブナ科樹木全木(但し、径15cm以上)のビニール巻き法\*の処置、また既に枯れた樹木及び近い将来枯れてしまう枯損木の伐採処分がなされることとなった。

\*ビニールシートを樹幹に被覆する方法。カシノナガキクイムシが樹木に飛来しても、穿入を阻止できれば樹木の枯死を予防できる。

糺の森を含む下鴨地域の埋もれている歴史的・文化的価値を掘り起こして、多くの方々に知って頂く活動を続けていくことは、大いに意義のあることだと認識しております。今後とも色んな発信活動をしていきたいと考えておりますので、ご助勢を宜しくお願ひ申し上げます。彌栄。